

F・マリノススポーツクラブのコーチの指導を保育カリキュラムに組み込みました

令和4年4月より、上白根幼稚園は一般社団法人F・マリノススポーツクラブのコーチによるサッカー指導を保育カリキュラムに組み込みました。

本園グラウンドで年少組から年長組まで全学年、年間20回のレッスンを受けます。正規の保育時間内に園児全員がJリーグチームの関連組織のコーチから指導を受けるというのは前例がありませんが、子どもたちはF・マリノススポーツクラブのコーチのみなさんと一緒に楽しく取り組んでおります。

コンセプトは、あくまで体を動かす楽しさ、スポーツの面白さを子どもたちに伝えることです。まず、走る、跳ぶ、投げるといった基本的な動作を思いきりしながら、子どもたちは爽快感や満足感を味わいます。その次の段階として、サッカーがあります。よちよち歩きの子もだって、目の前にボールがあれば足を出します。これはごく自然な動きです。ボールに触れて、転がして、蹴って、という動作の面白さはだれもが感じるのでしょうか。こうした本能的なことから出発して、やがてボールをゴールに入れてみるといったサッカーらしいプレーに移行していきます。F・マリノススポーツクラブの指導が、上白根幼稚園の園風に加えられた充実のレッスン内容になっています。

さて、実際に行ってみると子どもたちはわたしたちの予想を上回る興味と意欲と行動力でぐんぐん進んでいきます。コーチのみなさんの子どもたちを引きつける力もすごいです。みんな夢中になっています。子どもたちの見せるこうした積極性や柔軟性は、上白根幼稚園の平素からの保育の取り組みとそれを支える環境ゆえでもありましようか。

年長さんのゲームは白熱します。サッカーというものをわかってやっている子もそうでない子も思いきりボールを蹴っています。ときに豪快なOWN・ゴールが決まったりします。とにかく楽しくボールを蹴ってくれるのが一番です。そのために園は、ボールを一人ひとつずつ持てるように用意しています。自分のボールがあるのはうれしいです。また、ゴールも当園のマスコットボーイくんのイラストがプリントされたオリジナルのものを作りました。この様子は園長の書いている「えんちょうせんせいのブログ」にアップしてあります。このHPから入れますから、どうぞご覧ください。

わたしたちはフロントランナーとしての自覚と責任のもとに、今後も活動を推し進めて参ります。

どうぞ、よろしく願いいたします。

さあ、いっしょにキック・オフ！